

事例

80代 女性 要介護2 独居

既往歴 H11年 脳梗塞（右半身麻痺）
H16年 右大腿骨頸部骨折（人口骨頭置換）
認知症

本人の希望 「入院や入所せず自宅で暮らしたい」

1、支援前の状況

・従来型の訪問介護事業所、デイサービス、配食サービス等を利用し住居内を車椅子移動しながらの生活であった。平成29年5月、ベッドより落下したとのことで動けなくなっているところを訪問介護職員が発見する。独居であるため、生活全般の支援と24時間の見守りが必要であるため、あじさいケアセンター利用となる。

2、支援の方向性

- ・掃除、洗濯、調理等の生活支援を行い、安心して生活していただく。
- ・服薬管理、服薬確認の支援を行い、体調が安定する。
- ・出来る事はなるべく自分で行っていただけるよう支援する。

3、定期巡回支援計画

	月	火	水	木	金	土	日
10:00~11:00	生活支援		生活支援	生活支援		生活支援	生活支援
12:30~13:00	食事準備	デイサービス	食事準備	食事準備	デイサービス	食事準備	食事準備
16:00~16:30			服薬管理 バイタルチェック				服薬管理 バイタルチェック
18:00~18:30	食事準備						

4、支援開始からの生活の変化

- ①TV電話設置により24時間の見守り、緊急時の対応が可能になった。
- ②毎日の訪問を行うことにより、日常生活の細部まで支援が行き渡るようになった。
- ③看護師訪問にて健康管理、服薬管理と介護員による服薬介助で病状が安定した。

5、今後の課題

本人が自立心が旺盛で「自分でやりたい」という意識が高いが実際は安全確保が不十分な場面がある。

自分でできる環境を整備し、本人の意欲、ADLのアセスメントを行い、出来る限りご自分でしていただき、主体性を持った暮らしを支援していきたい。

事例

60代 男性 要介護4 甥と2人暮らし

1：蛍ケアセンター利用の経緯

平成28年7月14日に転倒し動けなくなり救急搬送され右膝の手術をしてリハビリに励んでいたが左足にも拘縮がみられ、両足が床に着くことも出来ず排泄は常にベッド上にて全介助で1日中、横になっていることも多くなり退院して自宅に戻りたいとの希望があり自宅内でのサービスをお願いしたいとのことで平成29年7月12日からの利用開始となりました。

その後、平成29年8月29日 腎不全悪化に伴う、うっ血性心不全にて緊急で透析導入となる。

2：支援の方向性

- ① 安否確認、体調管理、服薬／水分管理
- ② 右足踵じょくそう処置・膝／脛様子観察
- ③ 定期的に訪問し安心して過ごしていただく

3：支援計画と支援内容（火・木・土 透析）（水 デイ利用）

	月	火	水	木	金	土	日
9:30～9:45		オムツ交換 ワセリン塗布 体位交換	デイサービス	オムツ交換 ワセリン塗布 体位交換		オムツ交換 ワセリン塗布 体位交換	
10:00～10:30	褥瘡処置 ワセリン塗布	透析			褥瘡処置 ワセリン塗布	透析	褥瘡処置 ワセリン塗布
14:00～14:15	オムツ交換 ワセリン塗布 体位交換			透析	オムツ交換 ワセリン塗布 体位交換		オムツ交換 ワセリン塗布 体位交換
21:00～21:15	オムツ交換・ワセリン塗布・体位交換・服薬介助・水分補給						

- 1日複数回の訪問により安否確認、オムツ交換、バイタル測定、服薬確認／介助、水分管理、じょくそう処置を実施。
定期訪問以外でも随時コールを使用し随時訪問することにより自宅で安心して過ごして頂く。

4：支援開始からの変化

支援開始当初は熱発や低血糖で体調を崩し入退院を繰り返されていましたが現在では状態も落ち着き安定しています。

また11月よりデイサービスを利用することにより社会との交流も出来て会話も増え表情も明るくなり言動も前向きになったように思われます。

【居宅ケアマネージャー様向け】



初めて定期巡回・随時対応型訪問介護看護をご利用された場合、諸手続き・書き方等について当センターがお手伝いします。

支援内容

- 介護報酬請求時の請求方法支援
- ケアプランへの記載方法支援
- 提供票への記載支援 など

平成30年8月31日まで実施しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
あじさいケアセンター
TEL0495-71-9591

蛍ケアセンター夜勤帯の安全対策について

蛍ケアセンターでは事業所が市街地より人通りの少ない場所に移転したことにより夜間から深夜帯にかけて隣の公園では若者の出入りも多く、また事業所の駐車場に無断で入って来ては駐車してあったり何処からとも無く物音がしたりと物騒で不安なこともありアルソックの「まもるっく」を携帯することになっています。

「まもるっく」の特徴である「見守る」「見つける」「駆けつける」により緊急事態に備えた通報機能やGPSで場所の特定や位置検索機能など依頼があればガードマンも急行する駆けつけ対応で更にハンズフリーにより通話も可能なので安心で心強いと思います。

深夜帯に随時コールが鳴った時は辺りが真っ暗なので出発する際に事業所からの出入りや公用車への乗り降り時など特に不安や心配な部分も有りますが「まもるっく」を携帯することによって、もし何か有った時でも安心して業務に専念することが出来ると思います。

これからも「まもるっく」を携帯し引き続き安全対策に努めたいと思います。

発行:社会福祉法人 明正会
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
「蛍ケアセンター」 TEL:0495(71)5486
「あじさいケアセンター」 TEL:0495(71)9591
訪問看護ステーション「虹彩」TEL:0495(71)9597